

立志大成



認知症サポーター養成講座 ～これからの明るい社会のために～

2月9日、14時から本校ランチルームにおいて、『認知症サポーター養成講座』を実施しました。これは、毎年2年生を対象としての講座です。当日は、甘楽町健康課の金田京子さん、野中香さんが来校していただき、「認知症についての正しい知識」や「認知症の人への接し方」などについてDVD視聴をまじえて分かりやすくお話くださいました。これからの社会が誰にとっても幸せであるよう、この講座を今後に生かせれば、と思っています。

講座終了後、お二人から、「今年の2年生は、真面目に話を聞いて、真剣に捉えてくれていました。本当に良い子たちですね。」とお褒めの言葉をいただきました。これを聞いて、2年生の成長を感じ、大変嬉しく思うとともに、頼もしく思いました。これから、生きていく上で、大切なことを教えていただいた貴重な時間でした。



～生徒の感想～

- 僕も祖母と一緒に暮らしているので、他人事とは思わずに聞いていました。特に、印象に残っているのはDVDでした。話だけではなく、実際に見ることですぐく伝わってきました。今日学んだことを生かして、なるべく祖母に不安や不満を与えないようにしていきたいです。
- 私は今まで認知症の人と関わる機会がなかったので、あまり認知症について考えることがありませんでした。しかし、今回金田さんの話を聞いたり、DVDを観たりして考えが変わりました。一番心細く、一番苦しんでいるのは本人なんだと気づきました。これからは、偏見をなくし、今日学んだことを生かして接していきたいです。そして、自分ができていることを考えていきたいです。
- 最近おじいちゃんは、私の名前をごくたまにですが忘れてしまったりします。しかし、近所の人々の助けや週に何回かのデイサービスのおかげで、それ以上悪くはなっていないので、本当に周囲の人たちの助けや接し方は大事ななあ実感しています。私は、ごくたまにしかおじいちゃんには会いませんが、会う時には今日習ったような接し方ができると良いな、と思います。

☆お願い・・・親からの手紙メ切2/22(月)です。何卒よろしく願いいたします。☆